

担当医の紹介

医療法人名古屋放射線診断財団

理事長 **岩田 宏**

経歴

1984年	名古屋市立大学	医学部卒業
1993年	名古屋共立病院	消化器外科
2001年	名古屋共立病院	副院長
2005年	名古屋放射線診断財団	理事長



受診方法

● 外来診察日

第2、第4月曜日（祝祭日を除く） 14:00～16:00

● 受診時に必要な書類

受診継続中の施設がございましたら
以下の書類をご持参いただきますとスムーズに診察が可能です。

- ・診療情報提供書（紹介状）
- ・CT・MRI・PET-CTなど画像データ
- ・血液検査データなど

*診療情報提供書（紹介状）はお持ちいただかなくても
受診することができます。

*当院は病床200床未満のため
初診時特定療養費のご負担はありません。

● 予約方法

診療予約センター **052-353-9100**

月曜から金曜 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）

当院までのアクセス

● マイカー

名古屋共立病院の外来患者様のため、立体駐車場を含めて4か所（152台分）ご用意しております。

外来患者様

5時間無料の割引をさせていただきます。
忘れずに「駐車券」を院内にお持ちになって、
受付へご提示ください。

お見舞いの方

「駐車券」を必ず発券し、院内にお持ちくださいませ。
割引手続きをされない場合、
通常料金（30分300円）となります。

入院患者様

駐車料金は有料となります。
お車でのご来院はご遠慮ください。

● 公共交通機関

- ①地下鉄高畑駅より市バス
「高畑13(8番のりば)野跡駅・港区役所行」
(中川住宅下車すぐ)
- ②八田駅より(JR・近鉄・地下鉄)市バス
「高畑13(1番のりば)野跡駅・港区役所行」
(中川住宅下車すぐ)



無料シャトルバスを運行しております



地下鉄高畑駅と名古屋共立病院 外来棟の間で、無料シャトルバスを運行しています。
シャトルバス時刻表は名古屋共立病院 外来棟受付またはホームページでご確認ください。



2022.10発行

がん集学的治療外来

化学療法・手術療法・高気圧酸素療法・温熱療法・放射線治療などを
組み合わせてご提案する外来



やれることはやったと、あきらめていませんか？
まだ治療できることがあるかもしれません。

名古屋共立病院

がんは克服できる病気になりつつありますが、日本ではいまだに死因第1位で4人に1人が、がんにより亡くなっている現実があります。そうしたなか、納得できる治療の選択ができない状態に陥る状態「**がん難民**」という言葉をご存知ですか。

標準治療を実施したが望む効果が得られなかった、標準治療の適応外と判断され治療ができないがん患者さんが、医師から見放されてしまい、あとは緩和ケアしかありません・・・と、**体調も悪くなく治療意欲もあるのに治療はできないといった行き場をなくしてしまうという状態を「がん難民」と呼ばれています。**



そのような『がん難民』と呼ばれる患者さんに
名古屋共立病院では集学的治療をご提案します。

集学的治療とは？



がんの治療は、主に外科的手技によりがんを取り除く手術療法、がん放射線を照射してダメージを与える放射線療法、抗がん剤などの薬剤によってダメージを与える化学療法、が主流となっていますが、当院ではさらにピンポイントでがん細胞を温めることによりダメージを与える温熱療法や高気圧酸素療法を組み合わせることによりそれぞれの治療の増感効果を狙い高い治療効果を目指しています。これらの治療法を2つ以上組み合わせて治療効果を高める治療を「集学的治療」と呼んでいます。

👤 対象となる方

- 進行がんや、遠隔転移を伴ったがんと診断されていて治療にお悩みの方
 - ガイドラインによる標準治療を行ったが想定した効果が得られなかった方
 - がんと上手につき合いQOLの維持向上を目指したい方
- ※ 固形がんを対象としており血液がんは治療対象としておりません。

📋 保険適応

組み合わせる治療法はすべて保険収載されている実績のある治療法です。
(自由診療扱いではございません。)



がん集学的 治療外来

近年では、ガイドラインによるがんの標準的治療は、大学病院や基幹病院であればどこでも可能となってきています。しかし、温熱療法や、高気圧酸素療法はそれらの大病院でも装置や機器を導入している施設は少ないのが現状です。当院では標準的治療に加え、温熱治療装置や、増感効果を期待する高気圧酸素治療機を備えており、いくつもの病院に通うことなく一つの病院で様々な治療を組み合わせる集学的治療が可能です。集学的治療で化学療法の副作用をコントロールしたり、放射線治療で痛みのコントロールを行い患者さんの意向にあわせて体調のコントロールをしながら標準治療と緩和ケアの間を埋めてQOLを維持しがんとの共存を目指していきます。

■ 手術療法

手術の目的は、腫瘍や臓器の悪いところを取り除きます。必要に応じて、臓器同士をつなぎ合わせるなどの機能を回復させるための手術(再建手術)を行うことがあります。



■ 温熱療法

がん温熱療法(ハイパーサーミア)は、高周波エネルギーにより、がん組織を加熱し破壊する、身体に負担の少ない治療法です。



■ 化学療法

がんの化学療法は10床以上の治療チェア・ベッドを有する外来化学療法センターで行っています。薬剤師も常駐しており、医師や看護師とともにチームを組んで診療に当たっています。



■ 高気圧酸素療法

がんは熱以外に酸素も弱点であり、高気圧酸素療法により血液中に酸素を大量に溶け込ませ低酸素状態を改善し、がん細胞の成長を阻害します。他の治療法と併用することで、より高い治療効果を得ることができます。



■ 放射線療法

2004年2月よりガンマナイフを導入し、脳病変の定位放射線治療を、また2006年7月よりノバルリスを導入し、頸部以下の体幹部も含めた全身の定位放射線治療を行っています。ガンマナイフにおいては県内トップの治療件数を誇っています。

